

4. VR・AR・MRを活用した合意形成

■ 関係機関協議への活用 [実施内容]

BIM/CIMモデルを対外説明（関係者協議、住民説明、広報等）に活用した。

【効果】

- ①完成イメージの共有が容易となった。
- ②地域住民にはリーフレットの配布、来客者には“ARアプリ”で説明を行ったことで広報活動に繋がった。

【必要スキル】

- ①3次元CADの操作
- ②VR・AR・MRの作成・投影技術



説明状況



説明資料

■ 完成イメージの共有 [実施内容]

築堤と水路の3次元モデルをARにより現地に投影し、完成後のイメージを共有した。

【効果】

地域住民への説明時、ARを活用したことでイメージ共有が容易となり、円滑な協議が可能となった。

【必要スキル】

- ①3次元CADの操作
- ②VR・AR・MRの作成・投影技術



説明状況



ARによる施工水路と墓地通路の確認